

第4次定住自立圏共生ビジョン答申式 会議録

会 議 名	第4次定住自立圏共生ビジョン答申式
開催日時	令和7年1月24日（金）14:00～14:30
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室3, 4
出席者	【委員】10名（欠席4名） 岩崎恭典（座長）、和氣城太郎（副座長）、相田直隆、福本美津子、三宅徹、黒田寿美、ニエタ博和、岡正光、小葉松賢治、小林弘樹 ※欠席：野田智文、西田太郎、中川康司、末吉利教 【行政側】23名 日沖 靖（いなべ市長）、水谷俊郎（東員町長）、諸岡高幸（菰野町長）、山下正史（いなべ市副市長）、小川専哉（いなべ市教育長）、出口和典、（いなべ市企画部長）、近藤栄人（いなべ市総務部長）、大川洋海（いなべ市都市整備部長）、岩田長司（いなべ市環境部長）、岡 真水（いなべ市福祉部長）、出口美紀（いなべ市健康こども部長）、若松辰彦（いなべ市農林商工部長）、太田東洋（いなべ市建設部長）、伊藤 功（いなべ市教育部長）、小谷直仁（いなべ市政策課長）、小河信彦（東員町政策課長）、加藤正治（菰野町参事兼企画情報課長）、諸岡伸也（菰野町企画情報課政策推進室長）、児玉 吏（いなべ市政策課）、堀田彰宏（いなべ市政策課）、西尾みずき（いなべ市政策課）、栗原一生（東員町政策課）、藤井隆道（菰野町企画情報課政策推進室）
会議次第	1 開会 2 定住自立圏について 3 座長あいさつ 4 答申 5 いなべ市長、東員町長、菰野町長 あいさつ 6 記念撮影 7 閉会
公開、非公開	公開 マスコミ取材（中日新聞・CTY・ラッキータウンテレビ）
議 事 概 要	
1 開会 2 定住自立圏について（いなべ市企画部長説明） これまでの経緯について説明 3 座長あいさつ 今回の定住自立圏共生ビジョン懇談会の座長をさせていただいた四日市大学の岩崎です。 今まで、第1次から第3次までいなべ市と東員町で定住自立圏を構成してきました。今回菰野町も入ってということになったわけですが、その狙いというのは、要するに東京一極集中をどうやって防ぐか。そしてどうやって人口を減らさないかということになります。今までの東員町との定住自立圏でもそうでありましたが、基本的に人口はあまり減らさないという、す	

ばらしい成果をあげています。そしてこれに菰野町が加わって今回の第4次の計画についても、現在11万1,000人の人口を5年の間でわずか2,000人しか減らさないとしております。

これはやはりこの地域のポテンシャルの高さにあると思います。ご存じの通り東海環状自動車道の話もあります。それから何よりも工業団地がまだまだ立地の余地がある。そしてなおかつ定住移住が一定程度進んでいるというところがあります。その辺りを踏まえて、5年間でわずか2,000人しか減らさないため、住民の方々が今後も定住をしていくためにどのような条件が必要かと言えば、従前からの医療であるとか福祉の体制の充実というのは当然あります。それに加え移動困難者をどうやって解消していくのか、或いは医療に関しても、菰野町が入ったことで様々な便利な面をどのように享受できるのか。そういったことが、これからもまだまだ課題になります。カーボンニュートラルを目指して様々な取組や新しい政策課題というの、この定住自立圏の中に盛り込むことができたというのは、大きな意義があると思っています。

石破内閣となり、昨年末に「地方創生2.0」の提案がなされました。これから石破内閣が続く限りは、かなりの地方創生関連の交付金というものが出てくると思います。報道によりますと、今までの2倍ほど拡大されるとも言われています。となると、この定住自立圏共生ビジョンに掲載された様々なプロジェクトの実現可能性が今までにも増して高くなるかと思っています。その意味でも、非常に期待できるビジョンが企業、DMOのほか様々な民間のみなさんや、1市2町の職員との横の連携で作成することができたことは、今後の役に立ってくるかと思っています。

4 答申

5 いなべ市長あいさつ

岩崎先生をはじめ委員の皆さまには、短い期間の中、幾度となくお集まりいただきまして、この答申書を策定いただきましたこと、本当にありがとうございます。今後は広域での連携を深め、この圏域の住民のみなさんが本当に住みやすい、そして誇りや生きがいを持って暮らせる。そういったまちづくりのために、この答申を参考にさせていただき、1つずつ現実のものとしていければと思います。今後もいろいろアドバイスをいただければありがたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます、あいさつの言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。

6 東員町長あいさつ

本日は答申をいただきましてありがとうございます。今まではいなべ市と一緒にやってきましたが、これからは菰野町に入ってください、3つのまちで取り組んでいくということで非常に楽しみにしております。

菰野町との接点はありませんが、新名神高速道路で繋がっています。東員ICの次は菰野ICですので、非常に近くなったなと思います。ですから、これから3つのまちでしっかりとみなさんの想いを実現させていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

7 菰野町長あいさつ

懇談会委員の皆様には大変お世話になっておりますことにお礼申し上げます。

菰野町の広域圏域は四日市となります。諸岡町長はいなべの方を向いているのかという意見もいただくのですが、日沖市長には前々からごみ焼却場の関係で、一緒にやらないかとの話をいただいていたそうです。そのような中、一昨年前に、いなべ市が単独でごみ焼却場を作るとの記事を見まして、担当課に確認したところ、前々から一緒にしないかという話をいただい

いることを知り、一緒にしていただけないかお願いしました。その時に、ごみ焼却場と一緒にするだけでなく、もっといい話がある。定住自立圏の連携協定を結ぶことによって、様々な国の支援を受けることができるので、こちらも一緒に進めていかないかとのお話をいただきました。そういった経緯で昨年6月に連携協定を結ばせていただきました。

先ほど東員町長様からもお話がありましたが、菰野町と東員町は直接の繋がりはないのですが、西を向けば鈴鹿山脈があり、自然豊かな場所というエリアとしてはよく似た環境にあるのだなということで、日冲市長、水谷町長には感謝を申し上げているところでございます。

先ほど岩崎先生のお話の中でもありましたように、人口減少という大きな課題を共に抱えていかなければいけない。少しの減少で済んでいるのだからいいのではとおっしゃられる方もみえますが、減っていることには間違いないので、そういった中、いかに活性化するかというと、やはり広域連携しかありませんし、国の予算等をしっかり確保していくことが大事だなと思っていますので、よろしくお願いします。本当にこの仲間にいていただいたこと、みなさんに感謝してあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

8 記念撮影

出席いただきました懇談会委員と3市町の首長で記念撮影

9 閉会